

たばたあずみ



Tel・Fax 550 6674

山根とみえ



Tel・Fax 550 4224

戸沢ひろゆき



Tel・Fax 558 9721



たばたあずみ議員の一般質問

たばたあずみ議員は9月議会の一般質問で (1)若い世代の健康づくりについて (2)市民相談窓口について (3)横田基地に関する市民の不安解消について 質問しました。以下、内容をお知らせします。

健康 若い世代も関心持って

働き盛りの30代～50代は、特定検診などの受診率も低く、健康に注意を払っていない人が少なくありません。若い世代対象の取り組みの状況を質問し、啓発のひとつとして血管年齢測定の実施を提案しました。

市は様々な取り組みをしているが、若い世代は元気で多忙なために、自分が病気になるという意識が低いよだとの認識を示し、血管年齢測定や骨密度測定など人気のあるものをより効果的な方法になるよう検討すると答えました。

健康づくりは、若く元気なうちにはじめれば効果も出やすく、将来の健康維持や医療費の抑制にもつながります。たばた議員は、血管年齢測定の手軽さを説明し、市役所ロビーやファインプラザで行っている健康相談で、若い世代でも脳梗塞や心筋梗塞などが起こるということをパネルなどで展示することを提案。一家を支える働き盛りの世代が、健康を過信して突然死することのないよう、健康への関心を高める一層の取り組みを求めました。



気軽に相談できる窓口

格差社会・競争社会などが様々なゆがみを生み出しているなか、頼りにできる相談窓口が必要です。市民相談窓口のPR方法を質問し、特にDV(ドメスティック・バイオレンス=夫婦・恋人などによる暴力)などの相談のためのPRカードを提案しました。



市は、市民相談室の相談受付は、年間2000件前後、PRは広報とホー

ムページで行っている、DV被害などの相談についてのPR方法はカードも含め検討していると答えました。

たばた議員は、広報やホームページでの扱いに工夫を求めるとともに、DV相談などのPRカードをトイレの個室に置くよう提案し、市はそれぞれ調整したい、考えたいと前向きな姿勢を見せました。

悩みを抱えた市民が追い詰められる前に、安心して相談に行ける窓口として、住んでいるまちの役所に勝るものはありません。たばた議員は、どの窓口でも、より一層市民に寄り添った対応をしてくれるよう期待を述べました。

オスプレイNO！市民と力合わせて

これまでのC130による訓練に加え、オスプレイが何度も飛来しています。情報を得るためのルート確保や、市民への情報提供方法について、また、オスプレイの飛来を拒否すること、C130などの訓練を行わないよう要請を求めて質問しました。

市は、北関東防衛局等から寄せられる情報の他、横田基地に隣接する自治体と連携し、情報を共有している、市民へはホームページの企画政策課のページに「横田基地関連」の項目を設けて情報提供していると答弁。オスプレイについては安全面の問題が解消されないままの飛来や配備は容認できないという要請を続ける姿勢を示し、C130については、市独自の訓練中止の申し入れは困難としつつ、防

衛施設周辺整備全国協議会を通じ、低空飛行訓練の停止要請や対策充実を要望していくと答えました。そのなかで、市民からの苦情や要望が市を動かしていることをあきらかにしました。

たばた議員は、オスプレイの危険性「落ちやすいこと」が解決されていないことを、アメリカ国防総省の報告書などを根拠に述べ、市民を守るためには飛来・配備の拒否は当然と、さらなる情報収集への努力を求めました。また、学校や公共施設の上空も飛び回るC130の騒音について、国の責任で測定をさせるよう求め、市は国に求めたいと答えました。



裏面もごらんください

法律相談

11月20日(木) 13時30分～15時 予約が必要です。市議団までご連絡ください。

自民
公明

消費税増税STOPに反対!?

安倍内閣が来年10月の消費税10%への引き上げを狙っています。すでに4月からの8%で、市民の生活は大変です。アベノミクスの掛け声もむなしく、給料は減る一方、閉店を余儀なくされる小売店は増える一方です。国の悪政が市民を苦しめているとき、地方自治体はその防波堤たる役割を果たさなくてはなりません。

日本共産党あきる野市議団は、臨時国会を前にした市議会9月定例会に、「消費税10%への引き上げを当面凍結するよう求める意見書」を提案しました。

定例会最終日、戸沢議員が提案者としてこの意見書を提



案し、全議員の賛成を求めましたが、賛成少数で否決されました。

反対したのは自民党と公明党の議員ですが、質疑や討論は一切なく、何を理由に反対したのかはあきらかになりませんでした。

市民に開かれた、市民のための市議会を目指しているあきる野市議会で、こうした審議がまかり通っていることは、実に残念です。

議会は言論の府です。消費税増税が市民のためになると考えているなら、胸を張って討論すべきでしょう。

消費税引き上げの凍結を求める意見書への各議員の態度

消費税10%への引き上げを 当面凍結するよう求める意見書(案)

今年の4月に消費税を5%から8%へ増税した結果、国民・市民生活は大変厳しいものとなりました。

最近、政府が発表した報道によると、この四半期のGDPは、過去20年間で5番目の低い結果となっています。最大の要因は、増税前の駆け込み需要の反動減を超えた個人消費の落ち込みです。企業の設備投資も前期比2.5%減。消費だけでなく、経済活動も悪化しました。安倍政権は消費税増税後の落ち込みを大規模な公共事業で下支えしようとしたましたが、効果は上がりませんでした。

雇用者報酬は1.8%減。さらに物価上昇によって働く人たちの実質所得は減っています。

こうした中であって、消費税を10%に増税することは、国民の消費をますます冷え込ませ、経済の悪化を招く事が懸念されます。

よってあきる野市議会は政府に対し、消費税10%への引き上げを当面凍結するよう強く求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成26年9月25日

東京都あきる野市議会

提出先

内閣総理大臣 経済産業大臣

態度	会派	名前(敬称略)
賛成	日本共産党 あきる野市議団	戸沢 弘征
		山根 トミ江
		たばた あずみ
	政和会	合川 哲夫
		野村 正夫
	民主党	清水 晃
中村 のりひと		
反対	公明党	田中 千代子
		松原 敏雄
		増崎 俊宏
	自由民主党 志清会	子籠 敏人
		天野 正昭
		市倉 理男
		澤井 敏和
		中嶋 博幸
		細谷 功
		町田 匡志
		村野 栄一
	あきる野市議会 自民党	村木 英幸
		奥秋 利郎